

第62回日本母親大会

2016年8月20日(土)・21(日)石川&福井の両県で開催され、2日間でのべ9300からは12人の参加でした。早速寄せられた感想を紹介します。

うみがめ班 久米恵子

初めての宿泊参加でした。期待以上の久々に感動した内容で青春時代を思い出した2日間でした。住み易く、平和なら本にするため学習を力にし、前進したいと思います。

第62回日本母親大会に参加して

神無月班 堀川ふく

一日目の問題別集会はくらし・社会保障 貧困の連鎖を断ち切るために今、私たちができることは一日本国憲法をくらしにいかそうーに参加しました。

今こども6人に1人が貧困状態に、非正規労働者が増え若者が、年金だけではくらしえない高齢者と格差が拡大しています。社会保障を充実させ、消費税の増税はさせない政治にすることが一番大事なんだと強く思いました。私たち一人ひとりには微力ではあっても、決して無力ではありません。一人ひとりがつながって大きな力となり社会を変えていきましょう、宇都宮健児さんの言葉のおかげに勇気づけられました。

二日目の全体会で来賓あいさつされた、石川県各種女性団体連絡協議会の常光恵さんの言葉、美人薄命は昔の話。人生百年の今日、美人長命・才女多忙を合言葉に“できる女は忙しい”と私も活動していきたいと思います。

今年も行ってきました。日本母親大会in石川

こがらし班 鈴木治子

8/20、小型バスにて快適に(いつもは酔うのに全く酔わず)17人で、たくさん山また山やトンネル、川や畑や田んぼを越えて…そこは石川県でした。

問題別集会「くらし・社会保障」に参加。

- ・子どもの貧困(金沢大学・松田洋介氏)
- ・介護ですすむ負担増(中央社会保障推進協議会・前沢淑子氏)
- ・深刻化する貧困問題と解決の課題について(弁護士・宇都宮健児氏)

の3人とコーディネーターの井上秀夫さん(金沢大学)の4人の話。どの人の話もしっくり聞きたいと思った。その中で宇都宮さんが、貧困と格差が拡大する中で痛ましい事件が発生し続けている。と、

<結論>(1)普通に働けば人間らしい生活ができるようになるための労働政策。

(2)失業や病気などで働けない時でも、人間らしい生活ができるようになるための社会保障政策。

(3)富裕層・大企業に対する課税の強化と所得、富の再分配。

と宇都宮さんが明解に断じていました。尚8/21の全体会の報告は他の人に譲ります。

“あなたこそ宝もの”

第62回日本母親大会に参加して

ポプラ班 加藤悦子

「わたしは憲法をくらしに生かしています!!」という人は手をあげて!!この問いに私はパッと手をあげることができなかった。自分の中にある偏見や差別。自分が食べられなくなり、ひどい認知症になったら「死んだ方がまし」と思う他の人も、そんな風に見ていないか?

相模原の事件は「ヒドイ」とか「かわいそう」とかで片づけられない。(本音はどうだ!?)私は話し合いが苦手だ。(イヤ好きではない。)自分の思っているように生きたい。でもそれが正しいとは限らない。みんなで考えを出し合って もっとよいものを見つけ出そうという努力をあまりしない人だ。

みんな同じで みんなちがう。

誰もがひとりのひととして大切にされる(してる!?)憲法の大事な根っこが私の中で揺らぐ。

新婦人などの行動の中で、憲法を精神を何とか身につけて 心たのしく、豊かにくらしを社会をつくっていかねば…とつくづく思った大会だった。



市民の会の総会開催

「異次元の医療改革の行方」

— 岸本啓介氏 全日本民医連事務所長 —

7月23日、介護・医療と社会保障を考える市民の会 2016年度総会に伴う記念講演を聞きました。

全日本民医連では「経済的事由による手遅れ死亡事例」を調査、公表しています。貧困と格差が広がる中、働き盛りの死亡事例が年々増えていることを事例で示されました。国保料が払えず医療機関にかかれぬ人がいることは知っていましたが、保険証を持っていても窓口での支払いが負担になって受診を控える人がいる。とは…初めて知り、ショックでした。

安倍政権は戦争する国づくりと一体に、社会保障制度解体をすすめている。まさに憲法25条に反する「異次元」の大改悪。医療の効率優先・営利化でますます格差拡大…消費税は社会保障のためって言ってたじゃん。

どうなってるの?日本はこの先どうなるの?

もう一つの日本へ

- ・応能負担・公正な再分配
- ・いのちの主人公として誰もが安心して住み続けられるまちづくり

・「平和と人権を両輪」の総がかり運動
大きな宿題を与えられた気分です。

すくすく班 内藤由美子

